

## SKiパフォーマンス

3日目はお待ちかね、セントラルパークのごみ拾いである。ニューヨークへ来てからの情報では、ごみ拾いの他にペンキ塗りがあるという。朝7時50分というちょっと早めの集合でセントラルパークへ。成田空港で朋美ちゃんから渡されたTシャツを着て、ニューヨークの地下鉄に乗るといふ事を恥ずかしげもなくできたのは大衆心理というやつであろう。地下鉄を乗りついで40分ほどでセントラルパークへ到着。しばらくすると、メンバーがタクシーで到着した。メンバーは博子、彩子、美香、久子、陽子ちゃんはピンク、裕紀子、直美、美緒ちゃんは水色のTシャツである。ちなみに、中野さんは薄いベージュのTシャツで、私たちが客である。メンバーは作業があるということでさすがに全員パンツルックであるが、履物が昨日買ったばかりのスニーカーとか高い底の靴、久子ちゃんといったは草履(笑)。作業するにはちょっと?という感じである。ここで中野さんによる班分け。これによって、後が天国とか地獄となるか決まってきたのであるが、そんなことは知らぬ私たちは気がしないメンバーを指名して各班に分かれていった。

**橋本班** やる気満々の美香ちゃん率いる、我が1班の最初の作業は、「Mulch(堆肥)を手押し車に積み込む」作業であった。当初は、それぞれの班の中でMulchを手押し車に積み込み、目的の場所まで運ぶ人、そこで積み降ろす人、それを撒いてならす人、というように担当を決めて作業を進めていく予定だったが、それでは効率が悪かったのか、急遽、班ごとに担当を決めていく形へと変更になったのだ。Mulchの山から掘り積みこむのだが、この掘には大きいのと小さいのとがあった。当然、大きいのは重いので、美香ちゃんには小さいので作業をしようのだが、なかなかうまく積み込めなかったようだ。途中から、美香ちゃんはバケツでMulchを運ぶ係になっていた。しばらく作業を続け、疲れてきたところで休憩となった。この時、まだ班によっては全く作業についておらず、和気あいあいとしている班もあったようだ。その後は、芝生にとって有害な雑草を除去する作業につき、最後にはまたMulchを積み込む作業へと戻ることになった。3時間の作業の割には結構、疲れた気がした(苦笑)。遠くニューヨークまで来て、こんな農作業をすることは夢にも思わなかったが、普通(notふつ-)の人には経験できない貴重な体験をしたものだと思った。(なっば)

**菊地班** 最初に菊地班に課せられた課題は、橋本班が蒔いた堆肥(マウチ)を均していく作業だった。ところが、最初に課せられたこの課題は、他の班が30分交代でほとんど休んでいるにもかかわらず、延々1時間半くらい働かされたのであった。全く菊地班なかになったのが間違っていた。やっぱり彩子なんてきらいだあ(笑)。待望の休憩の後の課題は、草むしりである。裕紀子ちゃんも一緒にやったのであるが、これはこれでしゃがんだ姿勢がなかなか苦しい。でも、いろいろお話できて楽しい。寿隊の主力をボーカルぶたりを堆肥の糞塵から守ろうという配慮があったようだ。お陰で、夜の寿隊ライブも絶対調度良かったのである。(ちろ)

**井上班** 井上班は絶対6名でmulch(敷きわら)運び。行ったらいきなり「どつてここにいるんですか?」という有り難いお言葉。作業の身中は、手押し車に敷きわらを積んでもらって敷き詰める所まで持って行くだけのことなのだが、結構疲れる。最初30分で休憩するって聞いてたのに気がついたらほとんど休みながら延々と手押し車を押しっぱなし。その1時間近くの間どっかの班はなんにもしないで和んでる...羨ましい(笑)。井上さんは「つかれたあ」「腰が痛い」とか言いながらも、手押し車を引っ張ったりバケツで運んだりしてがんばって。お客さんもがんばってた。結局敷くところの草むしりが間に合っていたので途中から草むしりの手伝い。なんか、最初とは話が全然違った。メンバーも騙されてたみたい。ペンキ塗りがメインとか言われてたらしい。せっかく公園の歩道でゴミ拾ってメンバーを現地の東洋人の振りしてナンパしたり、ペンキ塗った脇から落書きしようと思ったのに(笑)。最後の方でやっと休憩できた。日本に帰るまで暇があったらナイキのサンダルでも買っていくってね、井上さん。(せんそく)

**本田班** さて本田班(グループ4)も作業開始です。作業内容は、公園に植えられた木の枝が伸びた範囲の先端直下帯に溝を掘り、同時に雑草を取り除くという作業。範囲は最初の指示から距離はほとんど伸び、汗をどんどんと、体はどんどん痛くなる。でもこういう仕事も好きなメンバーと一緒にならんとかが頑張れるってもの。みんな一生懸命作業しながら、博子ちゃんも世間話をしたり、なんだかんだでうまくやっているようでした。もちろん博子ちゃんもスコップ持って溝掘ったり、雑草を取り除いたり、取り除いた雑草を集めたりと色々がんばっていました。ちょっぴり休憩の後、別の場所の雑草取り。美はしゃがんでちょっぴり休みながらできる作業ということで、比較的楽にできる作業。のはずが、みんな一心不乱に草むしりまくり(笑)。とは言っても、なんだかんだ言いながらしゃべっている某ファンズを見て「さんて、ほんとはちゃんのこと好きなくせに~」とか、ナイスな発言も随所に織り混ぜながら作業は続いたのでした。草むしりがひとしきり終わって休んだ後、またしても過酷な作業を強いられることになってしまったが、まあ良からう。思うにセントラルパークを見に来る観光客は数あれど、これだけの作業をする観光客はそうはいない。そう思うとかなり貴重な体験ができた一日だと思った。(健太)

**斉藤班** 昨日のAnimeCrashでのイベント時、今にも倒れそうな様子で体調が心配された美緒ちゃんですが、他のメンバーは見に行ったパフォーマンスにも行かず寝ていたおかげで、今日は朝からすっきり元気なようです。セントラルパークでのボランティアですが、まずは橋本班のやっていた堆肥積み作業を引き継ぎ、一段落したところで小林班が掃き集めた枯葉の収集、そして堆肥均しと次々に肉体労働(笑)です。全体休憩の後、再び美緒ちゃんは堆肥積みをやったんですが、ぼくがひどくて喉が悪いということで、ひとり草むしりに行ってしまいました。おかげでその後、斉藤班はばらばら(苦笑)。まあこの時間帯には、どの班もけつこらばらにならないうように見えましたけど。普段身体を動かしてない分かなりつらい作業ではありましたが、まず通常ではやることのない作業をやることで、貴重な体験だったと思います。「SKIのファンクラブは、疲れるわねえ」(中野さん談)(きっち)

**松井班** 6班の松井班は決められた区域の雑草をフォークのオバケで抜き取るという作業でした。はじめに、道具の使い方、抜いてはいけない植物等の説明を受け、作業開始。最初のうちは、いまいち勝手がわからず、みんなとまどっていたものの、慣れると結構なスピード作業は進んでいきました。この日、陽子ちゃんは好きなヒールの高い靴をはいていて、いまいち力仕事はやりずらいようで、途中から抜かれた雑草の土を払って集めるという仕事につきました。陽子ちゃんのいるところ以外の作業は手薄になってしまうなんてこともなく、なかなか良いボランティアができたと思います。朝、英語の挨拶をした時は元気良く英語で返事してくれた陽子ちゃんでしたが、終わったときにはずいぶん疲れ切っていたようでした。(クローン)

**小林班** 小林班は第7班。「セブン」である。班員自己紹介の後、まず落ち葉拾い。病気になる木々の落ち葉は他の正常な樹木に悪影響を与えるので、それをかき集めて移さなければならない。セブンでは熊手がかき集めるのが仕事だ。久子ちゃんは途中、体調15cm程度の大きなナメクジを発見して大喜びしていた。担当エリアを終えて休憩。その後は草抜き。強すぎて芝などが育ちにくくなる草を取り除く作業だ。久子ちゃんは途中、土の中にミミズを発見して、大騒ぎしていた。ナメクジはOKだがミミズは苦手らしい。やるやつはいないと思うが、これを読んで「ああ、そうか」と勘違いして、大きなナメクジをプレゼントして嫌われても当方は責任をいっさい持たない。(西川)

**宮田班** 作業内容を説明される順番が最後だった宮田班は、とにかくひたすら待たされた。待ってる間に体をほくそうと体操をして、まご周りを見て、既に作業を始めている人たちの視線が猛烈に痛い... 違う!! 決して遊んでいるわけじゃないんだよ。実際、仕事が始まればすぐマジメに働いた。基本的には、腐葉土を運んで地面に撒き、ならず作業だったんだけど、メンバーが散らばっちゃったので、別の仕事をしてた人もいたかも。休憩後は芝生内の雑草をぬく作業も行い、トータルでは他の班と同じか、それ以上の働きだったんじゃないかな? (と書いておこう)とにかく、宮田班のみなさん、お疲れさまでした。(ひつじさん)

## SKi & 寿隊ジョイントライブ

17:30にロビー集合だったのであるが、午前中のセントラルパークの堆肥運びでも疲れていた私は、ちょっと仮眠するつもりで15:00ごろからうとうとしていたが、起こされたのが17:20分過ぎ。本当にあわててロビーに降りていったのであった。バスに乗ると2人足りない。添乗員さんが探しにいったところ、部屋で寝ていたのだ。あやうく私もそうなるころだった(笑)。18:00少し前になってバスは出発。バスの中で入場順の抽選を行い、10分ほどで会場に着いた。開場は18:30なので、しばらくブラブラしてから整列。ところが、メンバーも入場が遅れたためリハーサルが伸びているようだ。メンバーも疲れているに違いない。裕紀子ちゃんこき使っちゃったからな。ごめんね。

結局、入場は19:00ごろとなり、19:25に開演となった。会場は私たち日本人客が椅子を占領し、その周りを現地の人々が取り囲む様に立って見ている感じだった。ライブミュージックパークということで、アルコールを飲む部屋の隣部屋でライブをやっているという感じである。もの珍しそうに見える人はいるが、根をためて見入る人はまだいない(あたりまえだ(笑))。それでも、かなりの人が結構長いこと見ていたようだ。メンバーがかわいかったのか、ただもの珍しかったのか(←一、前者ということにしておこう)。

ステージは、新鮮組の格好で寿隊の「寿創世紀」から。いきなり、羽織袴だったり刀を抜いたり、アメリカ人にはびっくりだったのかも(笑)。でも陽子ちゃん、刀を反対に入れちゃったからって、刃のころを持ってひっくり返したら手が切れちゃうでしょ(笑)。長い「寿創世紀」のあと、裕紀子ちゃんの英語のMC。紙を見ながらたどたどしく読んで、逃げた(笑)。「最中は最高」の時、直美ちゃんが久子ちゃんをパンチした瞬間、SKIの垂れ幕が落ちた。何というパンチ力の宮田さん。そんな勢いで殴られた久子ちゃん大丈夫かなあ。全12曲を歌った寿隊のあとは、かわいいうちと事情があったつけます)博子ちゃんが英語で制服向上委員会の説明を行った。その後は唱歌のコーナーである。アカペラ3曲を含む唱歌はニューヨークカーにはどのように聞こえたのだろうか。

ここで、メンバー全員の英語による自己紹介をして、プロローグからエピソードまで17曲を披露した。特筆すべきは、先輩を大勢従えた陽子ちゃんの「さよならは出逢いの明日へのしるし」。最初は緊張していたようだが、でもでも、立派な歌いっぷり。最近の陽子ちゃんすごいね。「傷だらけの青春」では当然のごとく、英語版のコールが使われたが、ニューヨークには分かったのかもしれない?最後のエピソードでは多数の青いサイリウムが左右に振られる様を見ていたニューヨークカーたちは、面白がっていたようである。

ニューヨークでも長い制服向上委員会のステージが終了したのは、ほとんど22:00であった。



PHOTO BY KAO  
スタッフからの一言  
= 中野さん =  
中野さん、原稿~!(笑)

**今日の予定**

- 8:00 出発(自由参加)
- 9:00 お散歩タイム(自由参加)
- 10:00 教会パフォーマンス(自由参加)
- 11:00 撮影会(自由参加)
- 12:00 終了
- 18:20 ロビー集合
- 18:30 フェアウエルパーティ
- 21:00 終了予定

\*明日は11時頃出発目安です。



直美ちゃんごめんね